

## 9月 学年を越えて刺激を受け、学んでいます。

毎日園児たちは自分の好きな遊びを考え、取り組みます。でも、幼稚園の隣の保育室には1歳年上のお兄さん、お姉さんが遊んでいて、保育室から、廊下から、プレイルームから楽しそうな声が響き…。子どもたちは五感で感じます。先輩の楽しいような声を聞こえ、遊ぶ姿を見て、また隣の学級の子どもがいない時にはちょっと入ってそおっと触ってみたりして、「ここでも遊びたい!」「お客さんになれるかな?」「同じように作ってみたい!」と意欲が出てくるのです。

今日は3歳児が5歳児の遊びにお客さんに行きました。大きな積木でできた遊びはとっても魅力的。5歳児は遊びに来てくれるのでまた自分たちの遊びに工夫を加えます。そして4歳児は、1学期に5歳児が遊んでいた「転がす」遊びを再現していました。このような姿はとっても頼もしく、教員にとっては嬉しい場面となりました。

